

議会広報特別委員会

■情報管理及び発信の一元化をめざして

議会広報特別委員会から「情報管理及び発信の一元化」について、平成23年第4回定例会における中間報告以降の協議経過を報告いたします。

委員会では、情報管理及び発信の一元化について、議会内における体制整備は不可欠であり、委員会での協議を深める前に、改めて一定の整理をした上での体制づくりの議論が必要と判断し、正副議長及び議会改革特別委員会並びに議会広報特別委員会の正副委員長との意見交換を行うことといたしました。

意見交換の中では、媒体ごとにおける管理・発信について、具体的な実行が伴う作業部会として、現在「議会広報誌」を編集・発行している議会広報特別委員会がありますが、全ての管理・発信を一つの委員会で担うには困難性が伴うことから、情報の管理と発信の振り分けを協

議した上で議会全体で共通認識を持ち、さらに付託された議会広報特別委員会の中で、具体的に協議を進めることが確認されたところです。

媒体ごとでは、議会広報誌・議会ホームページ・FMラジオ・議会報告会・一般質問の周知ポスター・FMラジオ放送周知ポスター等がある中で、議会広報誌以外では、2つの周知ポスターは議会改革、ホームページは主に事務局、ラジオについては委託契約によりラジオふらのが編集・放送を、それぞれ行っている現況にあります。

この状況から委員会では、各媒体の一元化した情報管理と発信について、具体的にどう担当を振り分けていくことが望ましいのか、現在も検討中です。これまで、それぞれの媒体の内容について、改善点も含めて協議していますが、特にFMラジオの現在における放送のあり方について、契約仕様書も含めて議論し、今後は広報委員会による放送後のチェック体制の充実を図ることとしています。以上、中間報告といたします。

議会報告会

■「まちをかえる」原動力に

議会がより身近なものとなるよう、議会活動状況、委員会調査などを各地域に出向いて議会報告会を開催し、さらに、市民生活に関わる行政全般について意見交換を重ねながら、議会機能を高め市民の皆さんとの連携を目的に開催をしてきました。

今年1月に東山公民館・育良会館・鳥沼会館で開催し、予定した全会場が終了し、市民の皆さんから議会に対し貴重なご意見を頂きました。

主なものとして、ラジオふらのエリア拡大、人口減少問題に対し人口増加施策としての移住定住対策や山村留学の提案、納税組合の復活の意見、鳥沼公園整備、教員住宅整備、除排雪対策と独居老人への対策、地域防災対策の検証、避難所の物資の備蓄・管理など今後のまちづくりに関する質疑・意見も交わされました。

議会に関しては、議会報告会

が農閑期で良かった、地域活性化に向けて意見交換が出来て良かった、などのご意見を頂きました。

議会報告会は、富良野全域での開催は2年目となりました。初年度は9会場で開催しましたが、23年度は昨年8月から今年1月まで14ヶ所で開催し177名の市民の皆さんに参加頂きました。提案や意見は議員全体で共有し一般質問や委員会活動に今後も反映を続けます。

会場によっては参加者が少ない地域もあり、参加者から報告会の在り方について厳しい指摘などもあり、議会報告会についてのご意見などは今後さらに検討をしていきます。



議会報告会（北の峰コミセン）